

報道関係者各位

一般財団法人 雇用開発センター

**2017 年卒 大学生就職活動調査の結果速報**

◎3 月現在、内定率は 91.5%。

◎就活期間は「ちょうど良い」(46%) が前年から 23 ポイントの大幅増。

◎「若者雇用促進法」の職場情報提供制度。約 7 割が「全く知らない」

雇用職業情報を提供する、一般財団法人雇用開発センター（代表理事：井上英紀）は、「2017 年卒大学生の就職活動調査」をイプソス株式会社への委託により実施いたしました。

この度、調査結果の速報がまとまりましたので、一部抜粋をお知らせ致します。

**【調査概要】**

- ◆調査対象 2017 年 3 月卒業見込みで、就職活動中、または就職活動を終えた学生、  
全国の大学 4 年生及び大学院 2 年生 男女
- ◆調査期間 2017 年 3 月 15 日～3 月 23 日
- ◆調査方法 Web アンケート
- ◆有効回答 551 名（大学 4 年生：427 名／大学院 2 年生：124 名）

**【結果概要】**

- ・ 3 月時点での内定率は 91.5%。男女別では男性 89.6%、女性 93.2%で女性が男性を上回っている。
- ・ 50.8%の学生が「内定の辞退をしたことがある」と回答し、二人に一人が内定辞退を経験している。
- ・ 42.6%の学生が「インターンシップ」に参加している。参加期間は 1 日の「ワンデーインターンシップ」が 60.0%で最も多く、前年調査を約 10 ポイント上回っている。
- ・ キャリアセンターを、「利用したことがある」学生は全体の 51.9%に留まり、前年調査より約 5 ポイント下がっている。
- ・ 2016 年 3 月施行で、2017 年卒の就職活動で初めて適用される「若者雇用促進法」について「この法律を全く知らない」学生が 71.0%に上り、就活生への浸透度が低かったことがうかがえる。
- ・ 昨年度から変更になった就活スケジュール（3 月エントリー開始、6 月選考開始）について、就活期間が「ちょうど良かった」は 45.7%で、前年調査の 23.2%を大きく上回り、今の就活スケジュールが肯定的に捉えられていることがうかがえる。
- ・ 学業と就活の両立について「両立できたので、就活期間はちょうど良かった」が 47.4%で最も回答率が高く、前年調査からも 19.8 ポイントアップとなっている。

**【お問合せ】**

本調査に関するお問合せは下記までお願いします。

一般財団法人 雇用開発センター 相澤・石塚

〒108-0014 東京都港区芝 4 丁目 11 番 4 号 原ビル II 3 階 TEL：03-5419-3090

e-mail：[aizawa@earc.or.jp](mailto:aizawa@earc.or.jp) URL：<http://www.earc.or.jp>

## 1. 内定状況

### (1) 内定率

- ・調査時点での内々定率は、全体で **91.5%**であった。
- ・男女別では、男性 **89.6%**、女性 **93.2%**で女性が男性を上回っている。

表. 内定の状況 (%)

	n	内定を受けた	まだ、内定を受けていない
全 体	551	<b>91.5</b>	8.5
男性	270	<b>89.6</b>	10.4
女性	281	<b>93.2</b>	6.8
大学4年生	427	91.6	8.4
大学院2年生	124	91.1	8.9
男性×大学4年生	187	88.8	11.2
男性×大学院2年生	83	91.6	8.4
女性×大学4年生	240	93.8	6.3
女性×大学院2年生	41	90.2	9.8
文系	336	92.3	7.7
理系	212	90.6	9.4
文系×大学4年生	309	93.2	6.8
文系×大学院2年生	27	81.5	18.5
理系×大学4年生	115	87.8	12.2
理系×大学院2年生	97	93.8	6.2

### (2) 内定の辞退

- ・内定を辞退したことがある学生は、全体で **50.8%**であった。
- ・男女別では、男性が **47.8%**、女性が **53.7%**となっている。

表. 内定の辞退 (%)

	n	内定の辞退をしたことがある	内定の辞退をしたことがない
全 体	551	<b>50.8</b>	49.2
男性	270	<b>47.8</b>	52.2
女性	281	<b>53.7</b>	46.3
大学4年生	427	53.9	46.1
大学院2年生	124	40.3	59.7
男性×大学4年生	187	51.3	48.7
男性×大学院2年生	83	39.8	60.2
女性×大学4年生	240	55.8	44.2
女性×大学院2年生	41	41.5	58.5
文系	336	55.7	44.3
理系	212	43.4	56.6
文系×大学4年生	309	58.3	41.7
文系×大学院2年生	27	25.9	74.1
理系×大学4年生	115	42.6	57.4
理系×大学院2年生	97	44.3	55.7

## 2. 就職活動の開始時期

- ・前年の2016卒から後ろ倒しとなった就活スケジュールにおいて、エントリー解禁の「大学3年生の3月から就職活動を開始した」学生が **46.5%**と最も多くなっている。一方で、解禁前の2月以前から活動を開始していた学生は累計すると **53.5%**と半数以上に上り、多くの学生が解禁前には動いていた現状がうかがえる。

表. 就職活動の開始時期 (%)

	n	2015年10月以前	2015年11月頃から	2015年12月頃から	2016年1月頃から	2016年2月頃から	2016年3月以降
全 体	551	17.2	5.1	8.3	10.2	12.7	<b>46.5</b>
男性	270	18.1	5.6	6.3	8.9	13.0	48.1
女性	281	16.4	4.6	10.3	11.4	12.5	44.8
大学4年生	427	18.0	5.2	7.7	11.7	12.4	45.0
大学院2年生	124	14.5	4.8	10.5	4.8	13.7	51.6
文系	336	19.0	4.8	8.0	11.9	12.5	43.8
理系	212	14.6	5.7	9.0	7.5	13.2	50.0

### 3. インターンシップ

- ・前年同月調査を5.5ポイント上回る42.6%の学生が「インターンシップに参加した」と回答。
- ・インターンシップの参加期間としては、「1日」が60.0%で最も多く、「3日以上1週間未満」が35.3%で続く。「1日」の参加率は前年同月調査(49.3%)を大きく上回り、企業側のワンデーインターンシップ導入傾向の高まりがうかがえる。

表. 就職活動内容

	n	インターンシップ	ダブルスクール	就職情報サイト(ナビ)への登録	企業へのエントリー	合同企業説明会への参加	単独の会社説明会への参加	学内の合同企業説明会への参加	会社訪問	OB・OG訪問	その他	上記のような就職活動はおこなっていない
全体	551	42.6	1.6	51.9	65.2	48.1	59.9	46.1	12.9	10.9	0.9	17.4
男性	270	41.9	1.9	51.1	64.4	41.9	55.9	44.4	13.3	11.5	0.4	20.0
女性	281	43.4	1.4	52.7	65.8	54.1	63.7	47.7	12.5	10.3	1.4	14.9
大学4年生	427	44.3	1.9	51.5	65.1	51.5	60.7	45.7	10.3	8.7	1.2	16.6
大学院2年生	124	37.1	0.8	53.2	65.3	36.3	57.3	47.6	21.8	18.5	-	20.2
文系	336	43.8	1.5	53.6	68.8	54.8	63.4	45.8	10.4	9.5	1.2	17.6
理系	212	40.6	1.9	49.5	59.9	37.7	54.7	47.2	17.0	13.2	-	17.5
※参考 2016年3月	547	37.1	4.4	56.9	64.7	53.0	60.3	46.6	18.5	14.6	0.5	16.8

表. インターンシップの参加期間

	n	1日	2日	3日以上1週間未満	1週間以上2週間未満	2週間以上1か月未満	1か月以上3か月未満	3か月以上
全体	235	60.0	18.3	35.3	20.9	5.1	5.5	3.0
男性	113	51.3	19.5	32.7	23.0	4.4	7.1	4.4
女性	122	68.0	17.2	37.7	18.9	5.7	4.1	1.6
大学4年生	189	64.0	17.5	38.6	19.6	3.2	3.7	2.1
大学院2年生	46	43.5	21.7	21.7	26.1	13.0	13.0	6.5
文系	147	61.9	15.6	40.8	21.1	4.1	5.4	3.4
理系	86	58.1	22.1	26.7	20.9	5.8	5.8	2.3
※参考 2016年3月	203	49.3	18.7	40.4	17.2	7.9	3.4	1.0

### 4. キャリアセンターの利用状況

- ・「キャリアセンターを利用したことがある」は全体の51.9%で、約半分の学生が利用していない。また、前年同月調査の利用率56.3%と比べても僅かにダウンしており、学生のキャリアセンター離れが危惧される。
- ・利用しない理由としては、「利用してもメリットがないと思う」が44.9%と最も多いが、「そもそも場所がわからない」(30.2%)「何となく敷居が高い」(22.6%)も高い数字となっており、大学にとっては考えさせられる結果となっている。

表. キャリアセンター利用の有無

	n	利用したことがある	利用したことがない
全体	551	51.9	48.1
男性	270	47.0	53.0
女性	281	56.6	43.4
大学4年生	427	57.1	42.9
大学院2年生	124	33.9	66.1
文系	336	58.9	41.1
理系	212	41.0	59.0
※参考 2016年3月	547	56.3	43.7

表. キャリアセンターを利用しない理由

	n	キャリアセンターの場所がわからない	利用してもメリットがないと思うから	何となく敷居が高く、入る勇気がない	周りの目が気になる(就職活動をしていることを知られたくない)	その他
全体	265	30.2	44.9	22.6	7.9	6.4
男性	143	25.9	49.7	23.8	6.3	6.3
女性	122	35.2	39.3	21.3	9.8	6.6
大学4年生	183	29.0	42.6	23.5	9.8	7.1
大学院2年生	82	32.9	50.0	20.7	3.7	4.9
文系	138	21.7	48.6	27.5	12.3	5.8
理系	125	39.2	40.8	17.6	3.2	7.2

## 5. 若者雇用促進法

- 企業情報を開示することでミスマッチを防ぐ、という狙いで平成28年3月に施行された若者雇用促進法については、71.0%の学生が「この法律を全く知らない」と回答、「詳しくは知らないが聞いたことがある」(17.8%)と合わせると約9割の学生があいまいな把握状況となっており、就活生にはまだまだ認知されていないという結果となっている。

表. 若者雇用促進法認知 (%)

	n	青少年雇用情報シートを見たことがある	どのような情報の提供が義務化されたか知っている	どのように請求するかを知っている	詳しくは知らないが聞いたことがある	この法律をまったく知らない
全体	551	3.8	7.8	3.4	17.8	71.0
男性	270	4.8	9.6	4.8	17.0	70.0
女性	281	2.8	6.0	2.1	18.5	71.9
大学4年生	427	3.5	8.0	4.0	17.8	70.5
大学院2年生	124	4.8	7.3	1.6	17.7	72.6
文系	336	3.6	8.9	4.5	17.9	69.6
理系	212	4.2	6.1	1.9	17.0	73.6

## 6. 就労上の重視点

- 「就労にあたって、重視する(求める)点」では、「残業の少なさ」(32.1%)と「休みの取りやすさ」(42.3%)が、それぞれ前年同月調査の数字(25.2%、36.0%)を大きく上回っている。
- 昨年末の大手広告代理店の過労死事件や、政府が推進する「働き方改革」の動きが影響しているかと思われる。

表. 就労上の重視点

(%)

	n	給与・年収	残業の少なさ	休みの取りやすさ	福利厚生制度が充実している	勤め先の場所(立地)	仕事のやりがい	希望する仕事ができる	あらたな人との出会い	知識・能力向上機会	社内での昇進の可能性	将来、独立や起業するための経験が積める	定年まで働められる	親や周囲の意見	その他	重視する(求める)点はない
全体	551	59.7	32.1	42.3	48.8	42.3	46.5	29.2	15.8	18.1	11.3	4.4	15.4	6.0	0.7	4.0
男性	270	59.6	34.4	41.9	41.9	41.1	43.7	28.1	15.6	16.3	15.6	5.6	16.3	4.4	1.5	4.8
女性	281	59.8	29.9	42.7	55.5	43.4	49.1	30.2	16.0	19.9	7.1	3.2	14.6	7.5	-	3.2
大学4年生	427	58.8	33.0	44.5	49.9	42.2	45.9	27.2	15.5	16.9	9.6	4.7	15.0	6.3	0.7	4.2
大学院2年生	124	62.9	29.0	34.7	45.2	42.7	48.4	36.3	16.9	22.6	16.9	3.2	16.9	4.8	0.8	3.2
文系	336	59.8	34.8	45.2	48.2	42.6	47.0	26.8	17.6	18.5	11.3	5.4	16.7	6.0	0.6	4.2
理系	212	59.4	27.8	37.7	49.5	41.5	44.8	33.0	13.2	17.0	11.3	2.8	13.2	6.1	0.9	3.8
※参考 2016年3月	547	60.1	25.2	36.0	48.3	44.8	42.2	30.0	16.6	21.9	12.1	6.0	17.2	7.3	0.5	4.0

## 7. 就活スケジュール、学業との両立

- 45.7%の学生が就活期間は「ちょうど良かった」と回答しており、前年同月調査の23.2%から大幅増となっている。
- 学業との両立については、「両立できたので就活期間はちょうど良かった」が47.4%で最も多く、「就活期間が長く、両立できなかった」は12.0%と前年の33.1%に比べ大きく減少している。
- 就活期間、学業との両立、ともに多くの学生が肯定的に捉えていることがうかがえる。

表. 就活スケジュールについて (%)

	n	就活期間がちょうど良かった	就活期間が短かったと思う	就活期間が長かったと思う	わからない
全体	551	45.7	18.7	8.0	27.6
男性	270	42.6	20.0	8.5	28.9
女性	281	48.8	17.4	7.5	26.3
大学4年生	427	46.1	18.0	7.5	28.3
大学院2年生	124	44.4	21.0	9.7	25.0
文系	336	44.6	18.8	9.5	27.1
理系	212	47.6	18.4	5.7	28.3
※参考 2016年3月	547	23.2	20.7	33.6	22.5

表. 学業との両立 (％)

	n	学業と就活が両立できたので、就活期間はちょうど良かったと思う	就活期間が短く、学業と就活が両立できなかった	就活期間が長く、学業と就活が両立できなかった	わからない
全体	551	47.4	13.8	12.0	26.9
男性	270	42.6	15.6	11.9	30.0
女性	281	52.0	12.1	12.1	23.8
大学4年生	427	49.2	14.1	10.3	26.5
大学院2年生	124	41.1	12.9	17.7	28.2
文系	336	48.2	12.5	12.8	26.5
理系	212	46.2	15.6	10.8	27.4
※参考 2016年3月	547	27.6	15.9	33.1	23.4

## 8. 就職活動の満足度

- 「満足」(29.9%)と「やや満足」(46.3%)を合わせると76.2%で、前年同月調査の合計66.9%を約10ポイント上回り、売り手市場を裏付ける結果となっている。

表. 就活の満足度 (％)

	n	満足	やや満足	やや不満	不満
全体	551	29.9	46.3	15.2	8.5
男性	270	28.9	45.9	11.9	13.3
女性	281	31.0	46.6	18.5	3.9
大学4年生	427	28.3	47.5	15.2	8.9
大学院2年生	124	35.5	41.9	15.3	7.3
文系	336	25.3	50.0	15.8	8.9
理系	212	37.7	40.6	13.7	8.0
※参考 2016年3月	547	26.3	40.6	19.0	14.1

## 9. 就職活動の感想

- 「想定通り楽だった」(11.3%)と「想定より楽だった」(39.2%)を合わせると50.5%で、前年同月調査の46.3%からは微増となっている。
- 一方「想定通り厳しかった」(27.9%)と「想定より厳しかった」(20.5%)の合計は48.4%で、前質問の満足度の高さと比べると、結果に満足しながらも活動は「厳しい」と感じていた学生も多かったことが推察される。

表. 就職活動の感想 (％)

	n	想定通り、楽だった	想定より、厳しかった	想定通り、厳しかった	想定より、厳しかった	その他
全体	551	11.3	39.2	27.9	20.5	1.1
男性	270	9.3	42.2	24.8	22.2	1.5
女性	281	13.2	36.3	31.0	18.9	0.7
大学4年生	427	10.8	37.9	29.3	21.1	0.9
大学院2年生	124	12.9	43.5	23.4	18.5	1.6
文系	336	9.5	36.0	30.4	23.2	0.9
理系	212	14.2	44.3	24.1	16.0	1.4
※参考 2016年3月	547	9.0	37.3	33.3	18.8	1.6

### 【本調査結果の詳細】

- 本調査結果の全体については弊社ホームページ (<http://www.earc.or.jp>) をご参照下さい。